

平成 27 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

平成27年度事業報告書

概 況

平成27年度事業の実施に当たっては、前年度に引き続き、県民の健康づくりの中核として健康診査事業をはじめとする各種保健事業を効果的に推進した。

さらに、健康寿命の延伸が課題となっていることから普及啓発事業やがん対策事業等についても積極的に取組を行った。

その結果、総体的には所期の事業目的を達成することができた。

1 啓発普及事業

特定健診・特定保健指導受診促進のための広告及び各種がん検診の受診勧奨広告について年齢層に合わせた媒体を選び、新聞広告の他にラジオを媒体とした番組を放送し、受診率向上に努めた。

また、前年度に引き続き「24時間テレビチャリティブース」及び「元気にいがた健康フォーラム」に出展し、乳がん病巣モデルによるセルフチェック体験、血管年齢測定、骨密度測定等により、広く県民に対し生活習慣病に関する啓発を行った。(P15)

さらに、一般住民を対象に三条市・上越市・弥彦村と共催で生活習慣病予防等に関する講演会を開催し、予防知識の啓発普及に努めた。(P5)

2 研究研修事業等

新潟県がん検診研究会及び新潟県糖尿病対策推進会議主催による特別講演及びシンポジウムを行った。(P10)

また、検診体制の整備、検診精度の向上に寄与するため、検診従事職員に対する乳がん検診、肺がん検診の各セミナー及び細胞診研修会を開催した。(P18)

さらに、検診機関の臨床検査技師、診療放射線技師等を対象とした検診従事職員研修会の開催に当たっては、参加施設の代表者が意見発表等を行う参加型の内容として、検診機関職員等に積極性を促す研修となるよう努めた。(P19)

3 健康診査事業連絡調整事業

新潟県国民健康保険団体連合会から市町村国保及び県内3国保組合（医師国保、薬剤師国保、建築国保）の健診等実施に関する支援事業の委託を受けた。また、各種がん検診が健康増進法に基づいて実施されることになっており、市町村から検診に付随する業務の委託を受け、概ね当初の計画どおり事業を実施した。

4 健康情報管理事業

特定健診及び各種がん検診の健(検)診結果について統計分析を行い、全県、市町村別、

検診機関別等の集計データを関係機関に還元し、各種健(検)診の精度管理に寄与した。

また、例年どおり市町村からの申込みに基づき、各種(胃・子宮・乳・肺・大腸・前立腺)がん検診のデータ還元を実施した。

さらに、県下484健診実施機関の委託を受けて特定健診結果の電子化代行処理を実施した。

5 疫学調査事業

検診で発見された「がん」又は「がんの疑い」と判定された者について、精検医療機関の協力を得て、例年どおり疫学調査を実施した。(P9)

また、追跡調査として3年後及び5年後の生存状況等について、関係市町村の協力を得て例年どおり調査を実施し、疫学調査データの補完を行うとともに本県の検診精度の維持・向上に努めた。

6 がん登録事業

県の委託により、関係医療機関の協力を得て例年どおり情報収集事業を実施し、本県のがん対策の推進に寄与した。(P8)

また、平成28年1月から施行された「がん登録推進法」に基づき新たに開始された「全国がん登録事業」の円滑実施に向け、届出用CD-R等を関係医療機関に一斉配付するとともに事業概要の周知を行った。

7 脳卒中情報システム事業

県の委託により、市町村、医療機関からの情報提供を受けて集計・解析した報告書を作成した。併せて、関係者及び関係機関に対し情報のフィードバックを行った。(P16)

8 連携事業

(公財)日本対がん協会との連携については、同協会の後援により第32回がん征圧新潟県大会を開催し、多数の参加者を得て成果を収めた。なお、がん征圧運動の全県的な展開を図るため、昨年度の上越市に引き続き長岡市で「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」との共催事業として開催した。

また、日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の未受診者の掘り起しを図った。

さらに、日本対がん協会等関係団体主催の会議に出席する等により情報の収集に努めた。

〈 理事会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決を行った。

第15回 定例理事会

期 日： 平成27年6月8日(月)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成26年度事業報告について
原案どおり可決承認

第2号議案 平成26年度決算報告について
原案どおり可決承認

第3号議案 任期満了等に伴う役員等の選任について
原案どおり可決承認

第4号議案 理事会運営規則の改正について
原案どおり可決承認

第16回 定例理事会

期 日： 平成28年2月23日(火)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成28年度事業計画について
原案どおり可決承認

第2号議案 平成28年度収支予算について
原案どおり可決承認

第3号議案 「特定個人情報取扱規程」の制定について
原案どおり可決承認

第4号議案 臨時評議員会の開催日時及び場所の選定等について
原案どおり可決承認

第11回 定時評議員会

期 日： 平成27年6月24日(水)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成26年度事業報告について
原案どおり可決承認

第2号議案 平成26年度決算報告について
原案どおり可決承認

第3号議案 任期満了等に伴う役員等の選任について
原案どおり可決承認

第12回 臨時評議員会

期 日： 平成28年3月1日(火)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成28年度事業計画について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成28年度収支予算について

原案どおり可決承認

第3号議案 「特定個人情報取扱規程」の制定について

原案どおり可決承認

平成26年度事業・決算監査

期 日： 平成27年5月21日(木)

場 所： 財団会議室

議 題：

(1) 平成26年度事業報告について

(2) 平成26年度決算報告について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

1 会議等の開催

健康診査事業に関する合同打合せ会の開催（がん検診等受託事業と共同）

平成28年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者等を対象に県、県医師会、国保連の協力により、次のとおり開催した。

期 日： 平成28年2月2日(火)
場 所： 新潟県民会館 小ホール
出席者数： 112人

2 講演会等の開催

(1) 市町村と共同で開催する講演会（がん検診等受託事業を含む）

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導及びがん検診の受診勧奨を目的として、次のとおり3市村で開催した。

<大腸がん予防講演会>

期 日： 平成28年1月21日(木)
場 所： 三条東公民館
参加者： 250人
内 容： 講演「がんセンターのドクターに学ぶ
大腸がんの見つけ方と最新診断・治療法」
講師 新潟県立がんセンター新潟病院内科部長 船越和博

<慢性腎臓病予防講演会>

期 日： 平成28年3月18日(金)
場 所： 弥彦村役場
参加者： 60人
内 容： 講演「～腎専門医に学ぶ～血管を守って、腎臓を元気にする方法」
講師 新潟大学医歯学系腎・膠原病内科教授 成田一衛

<生活習慣病予防講演会>

期 日： 平成28年3月23日(水)
場 所： リージョンプラザ上越
参加者： 460人
内 容： 講演「脳卒中で寝たきりにならないためには
～自分で何をすればいいのか～」
講師 新潟県立中央病院神経内科部長 田部浩行

(2) 特定健診集計データ活用のための統計利用方法研修会

市町村国保等の担当者を対象に、本財団作成の「特定健康診査等結果集計報告」を基に集計データの活用並びに医療保険者ごとの課題の把握等を行うことを目的とした研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成27年11月9日(月)

場 所： 長岡地域振興局大会議室

参加者： 23人

講 師： 新潟県健診保健指導支援協議会健診委員会委員長

(新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授) 田 邊 直 仁

II がん検診等受託事業

1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等業務担当者研修会の開催

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく事業に新しく従事する事務担当者等を対象とした研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成27年5月29日(金)

場 所： 新潟県医師会館

出席者数： 50人

(2) 健康診査事業に関する合同打合せ会の開催 (特定健診・特定保健指導支援事業と共同)

(3) がん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診実施に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診を実施する上での問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は平成26年度実績

ア 胃がん検診

| | | |
|--------|----|--------|
| 契約市町村数 | 30 | (30) |
|--------|----|--------|

| | | |
|------|---------|------------|
| 受診者数 | 96,799人 | (96,676人) |
|------|---------|------------|

イ 子宮がん検診

車 検 診

| | | |
|--------|----|--------|
| 契約市町村数 | 25 | (25) |
|--------|----|--------|

| | | |
|------|---------|------------|
| 受診者数 | 30,098人 | (28,309人) |
|------|---------|------------|

施設検診

| | | |
|--------|---------|------------|
| 契約市町村数 | 28 | (28) |
| 受診者数 | 22,994人 | (24,111人) |

体がん検診

| | | |
|--------|------|---------|
| 契約市町村数 | 7 | (7) |
| 受診者数 | 916人 | (775人) |

ウ 肺がん検診

X線写真読影

| | | |
|--------|----------|-------------|
| 契約市町村数 | 30 | (30) |
| 受診者数 | 224,027人 | (223,097人) |

喀痰検査

| | | |
|--------|--------|-----------|
| 契約市町村数 | 30 | (30) |
| 受診者数 | 7,237人 | (7,449人) |

エ 乳がん検診

集団(マンモ)

| | | |
|--------|---------|------------|
| 契約市町村数 | 29 | (29) |
| 受診者数 | 54,750人 | (49,881人) |

施設(マンモ)

| | | |
|--------|---------|------------|
| 契約市町村数 | 18 | (18) |
| 受診者数 | 12,030人 | (12,181人) |

施設(視触診)

| | | |
|--------|--------|-----------|
| 契約市町村数 | 2 | (2) |
| 受診者数 | 2,143人 | (2,017人) |

オ 大腸がん検診

| | | |
|--------|----------|-------------|
| 契約市町村数 | 29 | (29) |
| 受診者数 | 134,483人 | (129,084人) |

カ 肝炎ウイルス二次検診

| | | |
|--------|------|--------|
| 契約市町村数 | 1 | (1) |
| 受診者数 | 143人 | (49人) |

キ 前立腺がん検診

| | | |
|--------|--------|-----------|
| 契約市町村数 | 13 | (13) |
| 受診者数 | 7,913人 | (7,513人) |

2 がん登録事業

がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業として、県の委託により関係医療機関への資料の配付、がん登録票の收受などがん登録室及び協力医療機関と連携し事業を行った。

() 内は平成26年度実績

| | | |
|---------|---------|-----------|
| 登録票受付件数 | 28,078件 | (27,291件) |
| 届出医療機関数 | 120機関 | (120機関) |

3 検診結果統計分析事業

下記に記載の各種がん検診の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。

| | |
|-------------|----------|
| ・胃がん検診 | 96,799件 |
| ・子宮がん検診 | 53,092件 |
| ・肺がん検診 (胸部) | 224,027件 |
| ・ 〃 (喀痰) | 7,237件 |
| ・乳がん検診 | 68,923件 |
| ・大腸がん検診 | 134,483件 |
| ・前立腺がん検診 | 7,913件 |

4 がん検診データ還元事業

希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 () 内は平成26年度実績

| | | |
|----------------|---|-------|
| ・胃がん検診実施市町村数 | 6 | (6) |
| ・子宮がん検診実施市町村数 | 6 | (6) |
| ・乳がん検診実施市町村数 | 6 | (6) |
| ・肺がん検診実施市町村数 | 4 | (3) |
| ・大腸がん検診実施市町村数 | 4 | (0) |
| ・前立腺がん検診実施市町村数 | 1 | (0) |

5 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、各種がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を提供いただいた。

また、特定健診結果についても市町村国保、県内国保組合以外の被用者保険等の健診結果を含めて取りまとめるため、関係機関と検討を行った。

なお、本年度は新潟大学大学院医歯学総合研究科血液・内分泌・代謝内科学分野の曾根教授との連携によりモデル事業(大学の研究事業)として、阿賀野市等の国保の特定健診データを利用した戦略研究を支援した。

6 疫学調査事業

平成26年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成24年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成22年度・平成24年度がん検診受診者)を実施した。

| | (平成26年度分) | (平成22年度・平成24年度分) |
|-------------|-----------|------------------|
| | 疫学調査 | 追跡調査 |
| ・胃がん検診実施件数 | 229件 | 388件 |
| ・子宮がん検診実施件数 | 227件 | 143件 |
| ・肺がん検診実施件数 | 324件 | 271件 |
| ・乳がん検診実施件数 | 140件 | 339件 |
| ・大腸がん検診実施件数 | 374件 | 580件 |

7 精度管理調査事業

伝統ある新潟県の健(検)診及び検診実施機関の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において、県検診機関協議会を対象とした精度管理実態調査結果をまとめ、調査対象施設に調査結果をフィードバックし、市町村に対しても調査結果の情報提供を行った。

新潟県検診精度管理調査委員会

委員長 秋山俊彦(臨床検査技師)

委員 8人

平成27年6月30日(火)新潟県検診精度管理調査委員会

8 研究研修事業

(1) 新潟県がん検診研究会

新潟県がん検診研究会(会長 青山英史 新潟大学教授)の事業を実施した。

| | | |
|---------------|--------|---------|
| 会員数 | 個人 24人 | 団体 88団体 |
| 平成27年5月28日(木) | 運営委員会 | 新潟県医師会館 |
| 6月16日(火) | 第1回理事会 | 〃 |
| 平成28年2月29日(月) | 第2回理事会 | 〃 |

第27回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

期日：平成27年12月3日(木)

場所：新潟県医師会館

参加者：55人

内 容：

ア シンポジウム「がん検診における精密検査受診率の向上について」

演題 1 「5 大がん検診の現状について」

新潟県福祉保健部健康対策課 保健師 笠井 悠 矢

演題 2 「新潟市大腸がん検診について」

新潟市医師会メジカルセンター
診療放射線技師 仲原 希 実

演題 3 「燕市の大腸がん検診の取り組みについて」

燕市健康づくり課 保健指導専門員 河合 こずえ

演題 4 「当社のがん検診および精密検診の仕組み」

パナソニック株式会社エコソリューションズ社
健康管理室 保健師 小坂 智恵子

座 長 新潟市保健所長 月岡 恵

イ 特別講演「大腸がん診療～いかに早く診断するか、

検診・予防の最前線～」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院内科部長 船越 和 博

座 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学分野教授
新潟県がん検診研究会会長 青山 英 史

(2) 新潟県糖尿病対策推進会議

新潟県糖尿病対策推進会議(会長 渡部 透 新潟県医師会長)の事業を実施した。

| | | | | | |
|---------------|---------------------|-----|----|------|----------|
| 会 員 数 | 個人 | 31人 | 団体 | 70団体 | |
| 平成27年 6月6日(土) | 幹事会 | | | | 新潟県医師会館 |
| 7月10日(金) | 第1回理事会 | | | | 〃 |
| 7月28日(火) | 糖尿病患者用テキスト作成実務者打合せ会 | | | 本財団 | |
| 9月13日(日) | 糖尿病ウォークラリー | | | | 長岡赤十字病院 |
| 10月7日(水) | 総会等打合せ会 | | | 本財団 | |
| 平成28年 3月3日(木) | 第2回理事会 | | | | 新潟県医師会館 |
| 3月6日(日) | 県民公開講演会「歯周病と糖尿病」 | | | | 柏崎市市民プラザ |

第2回新潟県糖尿病対策推進会議総会を次のとおり開催した。

期 日： 平成27年11月25日(水)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 39人

内 容：

ア シンポジウム

「来たるべき2025年を踏まえて ～糖尿病医療の将来像～」

演題 1 「地域包括ケアと糖尿病対策」

上村医院 院長

新潟県糖尿病対策推進会議 理事

上村 伯人

演題 2 「訪問看護師がつなぐ糖尿病医療」

長岡中央総合病院 長岡中央訪問看護ステーション

小黒 真紀子

演題 3 「認知症を併発した高齢糖尿病患者の家族が選んだ天寿全うへの道」

魚沼市社会福祉協議会 介護福祉係 係長

大平 妙子

演題 4 「糖尿病性網膜症／腎症を合併しながらも、ご主人との二人暮らしを
継続されている80歳女性への多職種での支援について」

揚石医院内科小児科循環器科 管理栄養士

水野 せつ子

座長 長岡中央総合病院副院長

新潟県糖尿病対策推進会議 理事

八幡 和明

イ 特別講演「佐賀県における多職種協働による糖尿病対策」

講師 佐賀大学医学部

肝臓・糖尿病・内分泌内科 教授

安西 慶三

座長 新潟県労働衛生医学協会 副会長

新潟県糖尿病対策推進会議 副会長

佐藤 幸示

(3) 新潟県検診機関協議会

検診事業を実施する29団体で構成されている新潟県検診機関協議会の事業を実施した。

| | |
|------------------------------|-------------|
| 平成27年6月2日(火) 定例総会 | 新潟県医師会館 |
| 6月2日(火) 第1回常任幹事会 | 〃 |
| 9月15日(火) 第2回常任幹事会 | 〃 |
| 11月15日(日) 福祉・介護・健康フェア2015出展 | 朱鷺メッセ |
| 12月15日(火) 第1回中堅幹部職員養成研修会 | 新潟県医師会館 |
| 平成28年1月13日(水) 第2回中堅幹部職員養成研修会 | 〃 |
| 1月27日(水) 第3回常任幹事会 | 〃 |
| 2月9日(火) 第3回中堅幹部職員養成研修会 | 〃 |
| 3月3日(木) 検診従事職員研修会 | ホテルラングウッド新潟 |
| 3月16日(水) 役員会 | 新潟県医師会館 |

9 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の

肺がん検診部会との連携を図った。

新潟県肺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 青山英史

委員 10人

地域肺がん検討委員会(12地域)

(設置地域) 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・魚沼・南魚沼・十日町
柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成28年2月29日(月)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 委員の交代について
- (2) 平成26年度肺がん検診結果報告について
- (3) 平成25年度肺がん疫学調査・追跡調査について
- (4) 平成26年度地域肺がん検討委員会開催状況について

10 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において、乳がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携を図った。

新潟県乳がん検討委員会

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤信昭

委員 14人

地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成27年11月4日(水)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 委員長の選任について
- (2) 平成26年度乳がん検診結果報告等について
- (3) 平成24年度乳がん疫学調査結果報告について
- (4) 平成26年度地域乳がん検討委員会の開催状況について
- (5) 乳がん検診セミナーの開催について

また、本委員会の活性化のため小委員会を開催した。

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭

委員 3人

期 日： 平成27年9月24日(木)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 乳がん検診セミナーの内容について
- (2) その他

11 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

新潟県前立腺がん検討委員会

委員長 新潟南病院 小松原 秀一

委員 10人

前立腺がん検討委員会を次のとおり開催した。

期 日： 平成28年3月19日(土)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 役員の改選、次期委員長の選出について
- (2) 平成26年度前立腺がん検診結果等について
- (3) 平成27年度新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会における前立腺がん検診関係資料等について
- (4) 新潟県の前立腺がん検診－平成26年度の結果－

Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業

1 生活習慣病予防普及啓発事業

(1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

期 日： 平成27年10月2日(金)

場 所： 長岡リリックホール

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

栗 田 雄 三 医 師

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

| | | |
|----|---------|-------|
| 個人 | 西 鐵 幹 | 医 師 |
| | 安 中 君 江 | 管理栄養士 |
| | 大 竹 加代子 | 保 健 師 |
| | 山 田 春 美 | 〃 |
| | 橋 本 ヒデ子 | 栄 養 士 |
| 団体 | 該当なし | |

(2) 生活習慣病予防展開催

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を図る目的で関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催した。

期 日： 平成27年10月2日(金)

場 所： 長岡リリックホール

(3) 機関紙発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)はじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

第12号： 平成27年7月20日発行

「子宮頸がん合併妊婦に対する胎児温存子宮頸がん根治術」

新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学教授 榎 本 隆 之

「高齢期に必要な(重要視すべき)体力」

新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科教授 佐 藤 敏 郎

第13号： 平成27年11月30日発行

「医学の基礎としての解剖学」

新潟大学大学院医歯学総合研究科顕微解剖学教授 牛 木 辰 男

「フレイルをよく理解しよう」

新潟南病院統括常勤顧問 和 泉 徹

第14号： 平成28年3月20日発行

「フレイルは予防できる」

新潟南病院統括常勤顧問 和 泉 徹

「がん登録等の推進に関する法律の施行について」

県立新潟がんセンター新潟病院参与(がん登録室) 小 越 和 栄

(4) 印刷物の作成頒布・健康教育資料等の提供

ア 印刷物の作成頒布等

がん検診・特定健診関係用紙とともに、特定健診受診勧奨用ポケットティッシュを作成し、市町村等に配付した。

イ 健康教育資材等の提供

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関するタペストリー、機器等の健康教育資材の貸出による普及啓発に努めた。（貸出件数 20件）

また、今年度新たに市町村等から需要の高い超音波骨密度測定装置を購入し、健康教育資材等の充実を図った。

(5) 広報活動

ア 新聞広告等

9月と11月に新潟日報朝刊にがん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

イ ラジオ番組等

6月から11月までの間、毎月2回、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的としてBSNラジオ番組「ゆうWAVE」内で「もっとカラダのこと話し隊！」（1回約7分間）を放送した。

また、放送内容を収録したCDを製作し、市町村等の関係機関に配付した。

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | 脳卒中 | 新潟大学脳研究所神経内科助教 | 赤 岩 靖 久 |
| 2 | 慢性腎臓病 | 新潟大学保健管理センター所長 | 鈴 木 芳 樹 |
| 3 | 子宮頸がん | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科学教授 | 榎 本 隆 之 |
| 4 | 前立腺がん | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学・分子腫瘍学（泌尿器科学）教授 | 富 田 善 彦 |
| 5 | 糖尿病 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野准教授 | 羽 入 修 |
| 6 | 歯周病と生活習慣病 | 新潟県歯科医師会常務理事 | 稲 富 道 知 |

ウ イベント出展

<24時間テレビチャリティブース>

期 日： 平成27年8月22日(土)、23日(日)

場 所： 万代シティ歩行者天国

参加者： 750人

内 容： 血管年齢測定、乳がん触診体験、歯周疾患チェック等

<元気にいがた健康フォーラム>

期 日： 平成28年3月27日(日)

場 所： 新潟ユニゾンプラザ

参加者： 40人

内 容： 骨密度測定等

(6) 中学生に対する生活習慣病予防等教育

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行った。

期 日： 平成27年7月1日(水)
場 所： 新潟市立中之口中学校
出席生徒数： 110人
内 容： がんと放射線治療
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学 教授 青山 英史

期 日： 平成27年9月25日(金)
場 所： 新潟市立亀田西中学校
出席生徒数： 372人
内 容： 「がん」と向き合おう
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器・一般外科学分野（第一外科） 准教授 亀山 仁史

期 日： 平成27年11月11日(水)
場 所： 十日町市立十日町中学校
出席生徒数： 72人
内 容： 医師（+教師+研究者）の仕事を通して
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
腎泌尿器病態学・分子腫瘍学（泌尿器科学）教授 富田 善彦

期 日： 平成27年12月7日(月)
場 所： 津南町立津南中学校
出席生徒数： 57人
内 容： 若い時の運動と体力はなぜ大事なのか？（がん予防も含めて）
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
血液・内分泌・代謝内科学分野 教授 曾根 博仁

2 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析の上、報告書を関係機関に配付した。

また、脳卒中発症調査の報告医療機関に対し協力事務費の支払いを行った。

| | | | |
|-------------|------|---------|-------|
| 退院時情報提供受理件数 | 618件 | 提出医療機関数 | 8施設 |
| 脳卒中調査票受理件数 | 420件 | 提出市町村数 | 19市町村 |
| 脳卒中発症調査受理件数 | 647件 | 提出医療機関数 | 52施設 |

IV (公財)日本対がん協会との連携事業

1 がん予防普及事業

(公財)新潟県健康づくり財団 がん征圧維持会員募金状況

維持会員募金の実績は次のとおりである。

| | | | |
|--------|--------|-------|--------------|
| ・ 法人会員 | 自治体会員 | 30市町村 | 1,250,000円 |
| | 医師会会員 | 16団体 | 410,000円 |
| | 検診団体会員 | 29団体 | 290,000円 |
| | 一般法人会員 | 62団体 | 610,000円 |
| ・ 個人会員 | | 70人 | 260,000円 |
| | (合 計 | | 2,820,000円) |

2 広報活動

ポスター・リーフレットの配布 (部数)

| | |
|---------------------|--------|
| ポスター「がん征圧月間」 | 350枚 |
| ポスター「禁煙推進」 | 350枚 |
| リーフレット「がん検診」 | 1,000部 |
| リーフレット「乳がんのセルフチェック」 | 1,000部 |

3 第32回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRし、がん撲滅の誓いを新たにするため関係機関の協力のもと次のとおり開催した。

なお、今年度は新潟大学等が参画している「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」との共催により開催した。

期 日： 平成27年10月2日(金)

場 所： 長岡リリックホール

参加者： 400人

内 容：

(1) 式 典

(2) 講演「大切にしたい自分の体 - 2度の子宮がんを経験して -」

講 師 よつばの会代表・女優・タレント 原 千 晶

(3) 特別講演「切らずに治せる放射線治療」

講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学分野教授

青 山 英 史

座 長 新潟県健康づくり財団理事

興 梶 建 郎

(4) ミニコンサート

ONCリード合奏団

4 無料クーポン券の配布

日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の受診促進を図った。（配布部数 200部）

V 研究研修事業

1 細胞検査士研修会の開催

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として、県の委託により研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成27年8月21日(金)、22日(土)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 84人

内 容：

(1) 鏡検 「呼吸器細胞診（中皮腫を含む）」

(2) スライドセミナー

症例検討「呼吸器細胞診（中皮腫を含む）」

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院副院長 本 間 慶 一

講 師 長岡赤十字病院病理診断部病理部長 薄 田 浩 幸

新潟市民病院病理診断科副部長 橋 立 英 樹

新潟県立がんセンター新潟病院病理部長 川 崎 隆

新潟大学医歯学総合病院病理部特任助教 大 橋 瑠 子

2 乳がん検診セミナー

本県の乳がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成28年1月15日(金)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 95人

内 容：

(1) 特別講演「新潟県における乳がん検診の精度管理」

講 師 埼玉協同病院外科技術部長 佐 野 宗 明

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐 藤 信 昭

(2) パネルディスカッション 「要精検者への説明のために」

司 会 新潟大学医学部保健学科教授 小 山 諭

パネリスト

新潟県立中央病院外科部長 佐 藤 友 威

新潟県立新発田病院外科部長 池 田 義 之

長岡赤十字病院外科部長
新潟県福祉保健部健康対策課技師

島 影 尚 弘
笠 井 悠 矢

3 肺がん検診セミナー

本県の肺がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精
度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成28年 2月16日(火)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 62人

内 容

(1) 講演1 「新潟県の肺がん検診受診者における肺がん症例の検討

－新潟県がん登録情報との照合一」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院臨床部長 田 中 洋 史

座 長 新潟県保健衛生センター副理事長 横 山 晶

(2) 講演2 「結核健診から総合胸部検診への展望」

講 師 公益財団法人結核予防会理事長 工 藤 翔 二

座 長 新潟県保健衛生センター副理事長 横 山 晶

4 検診従事職員研修

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事
する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共
催で次のとおり開催した。

期 日： 平成28年 3月3日(木)

場 所： ホテルラングウッド新潟

参加者： 合同研修会 137人

第一分科会 特定健康診査部門 100人

第二分科会 診療放射線部門 57人

第三分科会 細胞検査部門 15人

計 309人

(実人員 171人)

内 容：

(1) 合同研修会

講演「胃がん検診の今後の方向性について」

講 師 国立がん研究センター社会と健康研究センター

検診研究部検診評価研究室室長 濱 島 ちさと

(2) 分科会

ア 第一分科会 特定健康診査部門

講演1 「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度」

講 師 新潟産業保健総合支援センター副所長 野 口 忠 司

講演2 「慢性腎臓病（CKD）と慢性透析患者の動向」

講 師 新潟県保健衛生センター

県央メジカルセンター長 吉 田 和 清

講演3 「血圧ガイドライン2014について」

講 師 （医）恒仁会新潟南病院副理事長 渡 部 裕

イ 第二分科会 診療放射線部門

シンポジウム「乳がん検診における“良性所見情報”について」

司 会 厚生連長岡中央総合病院主任診療放射線技師 丸 山 小百合

演 者 新潟県福祉保健部健康対策課技師 笠 井 悠 矢

新潟県保健衛生センター診療放射線技師 海 津 牧 子

済生会新潟第二病院外科部長 田 邊 匡

講演1 「乳がん検診の最近のトピックス」

講 師 済生会新潟第二病院外科部長 田 邊 匡

講演2 「長岡市における胃がんリスク検診の現状と課題」

講 師 厚生連長岡中央総合病院副院長 富 所 隆

ウ 第三分科会 細胞検査部門

シンポジウム「肺がん検診（喀痰細胞診）の現状と課題」

司 会 上越地域総合健康管理センター検査課参事 生 田 直 美

助 言 新潟県立がんセンター新潟病院副院長 本 間 慶 一

演 者 下越総合健康開発センター臨床検査技師 峰 本 佳 織

厚生連長岡中央総合病院臨床検査技師 小 杉 久 良

上越地域総合健康管理センター臨床検査技師 南 保 和 子

講 演 「肺癌の病理診断 -WHO分類第4版の概説-」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院副院長 本 間 慶 一

[収益事業等]

I 健康情報管理事業

1 特定健診結果電子化代行業業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

() 内は平成26年度実績

特定健診結果電子化代行処理業務 77,967件 (84,955件)

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、
受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

() 内は平成26年度実績

| | | |
|-----------------|--------|----------|
| 特定健診個人結果通知書作成業務 | 2,254件 | (2,045件) |
|-----------------|--------|----------|